

日本学校教育相談学会

THE JAPANESE ASSOCIATION OF SCHOOL COUNSELING AND GUIDANCE

栃木支部会報 2011.06.30

NO.15

- 平成23年度日本学校教育相談学会栃木支部総会
- 第1回カウンセリング特別講座
演題 違いを活かした授業実践 Part 1
－『みんなちがってみんないい』を実現するには－
バーンズ亀山静子先生（ニューヨーク州公認スクールサイコロジスト）
- 第2回カウンセリング特別講座 Part 2
演題 違いを活かした授業実践
－『みんなちがってみんないい』を実現するには－
- 栃木支部からのお知らせ
- 栃木支部平成23年度事業計画

○ 平成23年度日本学校教育相談学会栃木支部総会

平成23年6月4日（土）に教育会館5階小ホールにおいて平成23年度日本学校教育相談学会栃木支部の総会ならびにバーンズ亀山静子先生をお迎えして、第1回カウンセリング特別講座が行われました。

総会議事

- (1) 平成22年度事業報告
- (2) 平成22年度決算報告
- (3) 「会計監査」報告
- (4) 平成23年度事業計画案審議
- (5) 平成23年度予算案審議
- (6) その他

栃木支部役員

支部理事長	丸山 隆	
事務局長	谷津 嘉子	
理事	池田 清恵	伊澤 裕
	小川 正人	川俣 幸雄
	佐藤 幹雄	柴 一弥
	原田 浩司	藤浪 直紀
	毎澤 典子	梁瀬のり子
		【五十音順】
会計監査	笠原 光雄	斉藤 誠一郎



○ 第1回カウンセリング特別講座

違いを活かした授業実践

－『みんなちがってみんないい』を実現するには－Part 1 報告

講師 バーンズ亀山静子先生

(ニューヨーク州公認スクールサイコロジスト)



平成23年6月4日(土)に教育会館5階小ホールにおいて第1回カウンセリング特別講座にニューヨーク州公認スクールサイコロジストのバーンズ亀山静子先生をお迎えして、演題『違いを活かした授業実践―「みんなちがってみんないい」―を実現するには』が行われました。

このカウンセリング特別講座はバーンズ先生のご尽力で、6月4日のPart 1と5日のPart 2の2日間に渡り、通常学級において、発達障害の子どもやその他の子どものニーズに、どのように応えるかをアメリカの実践例を交えて「違いを活かした授業実践を実現」するための研修講座となりました。

Part 1では、「みんなちがってみんないい」というテーマの中、健常児と障害児の違いは「できる」「できない」だけではないと言う話から講座が始まった。受講者の多くは「演題から想像すると今回の講座は各障害の特徴や対応の違いについてのお話かなあ」と思った人は少なくないと思います。実際に各障害による特徴の違いや援助方法・対応の違いや学校の環境・システムの違いなども多角的にそれぞれの違いについても詳しく話されました。しかし、話が進んでいくうちに障害児のさまざまな特徴の違いを単に説明されている訳ではなく、障害児の教育や特別支援教育に携わる人達の「認識や認知」に関わるお話であったように思えました。例えば、援助を必要としている人の特性を診断し、通常教育と特別支援はつながっているものと考え、それぞれの違いは“制約の大小”であると考えたり、アコモデーション(学習を支援する環境準備)を<環境的配慮><やる気をおこさせるための対策><整理技術・対策><教科指導上の対応>の4つの項目に大別し、実際に援助者が「行っていること」を確認して、今後の「課題を明確化」させるなど。日頃、これらの対応に追われ「見逃している項目」にも焦点を当てていました。演題の「みんなちがってみんないい」は、障害児や特別支援教育を必要とする児童・生徒達の特徴は、「みんなちがう」ということを指している一方で、援助を行う側はこれらの生徒の特徴を考えた時、「画一化された援助に捕らわれ過ぎてはいけない」と言われていた様に思いました。



講座終了後に先生に尋ねると「特別支援教育を行う人たちは、生徒の特徴の違いを知った上で、個々にあった援助を行う事が大切であり、既存の援助や教育に捕らわれない柔軟な認識を持って援助を行う事が必要です」と言われ、『みんなちがってみんないい』というテーマが我々に問いかけるものは奥が深いものであると感じました。

(藤浪 直紀記)

○ カウンセリング特別講座 Part 2

違いを活かした授業実践

－『みんなちがってみんないい』を実現するには－Part 2 報告

4日の一般向け講座に引き続き、丸1日の実践講座には40名の参加者がありました。演習によるグループワークでは熱心な意見交換がなされました。その様子を参加者の感想から報告いたします。

「みんなちがってみんないい」～私たちにできること～

栃木県教育連合会 相談部 研修生
馬場 仁美

今回行われたバーンズ亀山先生の講義には、教員や相談員等150人以上の方が受講し、発達障がいを抱える子どもたちの支援ニーズの高まりと、発達障がいに対する理解と対策が強く求められているように思いました。また、2日目の講義では、欧米の支援方法を学んだ上で、現在日本で行われている支援とこれからの支援について受講生同士でそれぞれの熱い思いや意見を共有しました。

今回の講義では、発達障がいを抱えている子どもたちの特性に合わせた支援とその子どもたちに関わる教師など支援者側の役割について学びました。子どもたちの特性に合わせた支援を行うには、その子どもが何が得意で不得意なのかを支援者側が理解し援助するとともに、子どもたちの自発性や意欲を高めることが重要とのことでした。

子どもの特性を理解するためには、その子どもがどのような提示方法であれば支援者側の情報を理解することができるのか、そして子どもが理解したことを最も表現できる、示せる方法は何かということを考えていく必要があるります。

また、子どもたちの自発性や意欲を高めるには、上記のように双方の情報や知識の提示方法を多様化すること、課題に対して選択できること、目標(ゴール)を明確に示すことなどが挙げられました。特に子どもたちに選択を与えることは、課題や勉強に対して受け身の姿勢を抜け出し、興味関心の広がりから自らそれらを学ぶ姿勢を身に付けていくことにつながります。

子どもたちの特性に合わせた授業を行うことは、支援者側にとって大変なことだと思います。しかし、子どもたちの特性を活かした支援が行われれば、子どもたちは本来持っている力を最大限に発揮し、自分らしい生き方を見つけることができるのではないのでしょうか。



平成23年度 栃木県支部事業計画

開催期日	事業名	会場	備考
6月4日(土) 総会 13:00~ 講演 13:30~	【第21回総会およびカウンセリング特別講座】 講演「違いを活かした授業実践 PART①-『みんなちがってみんないい』を実現するには」 講師 バーンズ・亀山静子先生	栃木県教育会館 5F 小ホール	150名参加
6月5日(日) 9:30~15:30	【カウンセリング特別講座 第2弾】PART② 『みんな違ってみんないい』を実現するには 研修 講師 バーンズ・亀山静子先生	とちぎ青少年 センター 研修室	40名参加
8月9日(火) ~11日(木)	【日本学校教育相談学会第23回総会・研究大会】 東日本大震災のため震災のため中止となりました。被災県(岩手・宮城・福島)会員の年会費免除に伴い、栃木県支部として支援金を送りました	宮城県仙台市 仙台国際 センター	
10月22日(土) 13:30~16:00	【第21回支部研究発表】コメンテーター 伊澤 裕先生 発表者を募集しています	栃木県教育会館 2F小会議室	
12月10日(土) 13:30~16:00	【カウンセリング特別講座・合同研修会】 講演「不登校への対応-家庭と学校との連携-」 講師 金澤 純三先生	栃木県教育会館 5F小ホール	
1月 日() ~日()	【日本学校教育相談学会・中央研修会】 未 定		
2月11日(土) 13:30~16:00	【精神医学特別講座・合同研修会】 講演「臨床で出会う子どもたち」 講師 阿部 隆明先生	栃木県教育会館 5F小ホール	
月 日	【北関東ブロック合同研修会】 未 定		

日本学校教育相談学会栃木支部協賛・共催事業

開催期日	事業名	会場	備考
8月10日(水) ~12日(金)	協賛 第92回日本カウンセリング学会栃木研修会	鬼怒川観光ホテル	主催 日本 カウンセリング学会

日本学校教育相談学会栃木支部

〒320-0066 宇都宮市駒生 1-1-6 教育会館内
栃木県教育研究所相談部

日本学校教育相談学会栃木支部事務局

TEL 028-621-7274 FAX 028-627-5682 (事務局長 谷津)

E-Mail : gakkai@t-rk.jp または soudan@t-rk.jp

(発行責任者 丸山 隆 / 広報担当者 藤浪 直紀)